

うちのこでっせ



かいご えほん
【介護絵本】

にんちしょうかいごへん
—認知症介護編—

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人

おおさかふしゃかいふくしじぎょうだん
大阪府社会福祉事業団

こころあたた しゅってん
【心温まるエピソード出典】

とくべつよう ご ろうじん たかつきそう
特別養護老人ホーム高槻荘

うつろぎユニットメンバー

いちばんつた
【エピソードで一番伝えたかったこと】

しゅじんこう じんせい たいはん こそだ がんば
この主人公は、人生の大半を子育てで頑張ってきた
ほこ じまん
ことが、誇りであり、自慢でした。

しせつ せいかつ いただ こころ
施設の生活になれて頂こうと、さまざまな、ことを試み
ましたが、うまくいきませんでした。

しゅじんこう め お しえん
主人公のできることに目を向けた支援をすることで、お
にんぎょう そだ い しせつ いごち
人形を育てることが生きがいにつながり、施設が居心地
よ ばしよ
の良い場所になりました。

この本は、あんしんして特別養護老人ホームで
くらせるように取りくんだエピソードがもとに
なっています。



『いじいぜ。わたしのうちと違ちがう〜！』

あんだ、知らんか。大阪おおさかへはどっい行くねん。』

A子こさんがそわそわしています。

「そっまですか、困こまりましたね・・・

一緒にいっしょ考えかんがえましょうか。」

介かい護ご士し（※）が声こゑをかけると



『うん

自分で探すからええわ。

あんだ、忙しいやろ。』

と言いながら、



(※) 介護士とは、高齢なごで、自宅での日常生活が困難になり、施設に入られた方の食事や入浴、トイレなどの世話を
する専門職です。

そばにいたB子さんに

『ちよっと、ちよっと、うちの息子^{おまこ} 知りまへんか？

早よ、ごはん用意したらんと あかんねん！

せつ5時^じざん、

おなか、

すかしてゐるわ。』



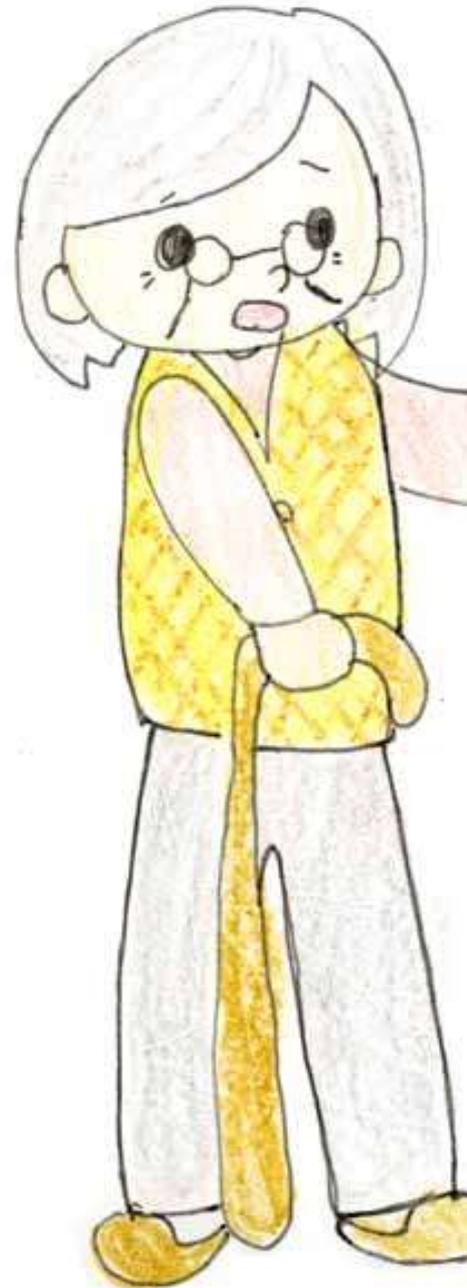
B子^こさんも、

『そろ大変^{たいへん}ですね。』

『ボンのお名前^{なまえ}は？』

お年^{とし}はいくつですか？』

とたずねます。



『うちの子、まだおしやで。』

名前は、なんやったかな？』

『おしや、太郎や。』



いつもこんな調子で、

息子さんを探しているA子さんは、

特別養護老人ホーム(※)でくらししています。

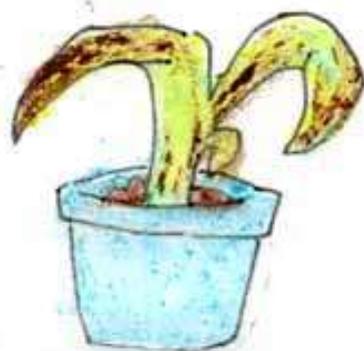
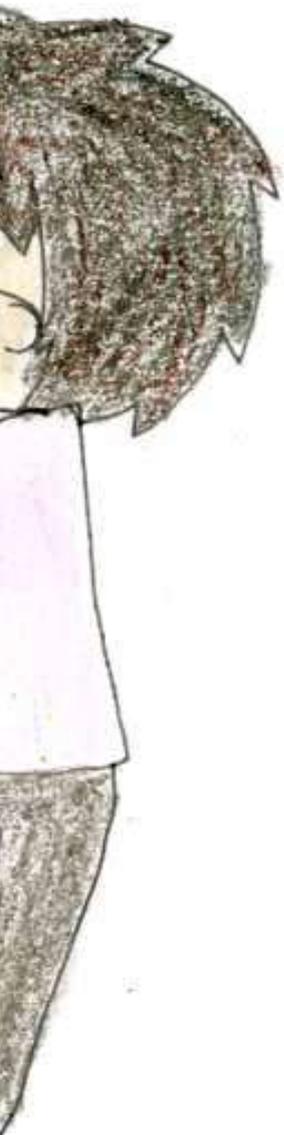
(※) 特別養護老人ホームとは、認知症等、自宅での生活が困難な方が共同生活でき、入浴や食事などの必要な介護を受けられる施設です。施設により、なじみの関係が作りやすいように、少人数のグループを設けグループ単位で介護を行っています。

老人ホームに来て半年たちましたが、

夕方になると

小さかった頃の息子さんを思い出し

探します。



そろそろ

施設の生活に

慣れてほしいと

担当する

介護士みんなで

考えました。



夕方ゆうがたは、
介護士かいごしと一緒いっしょに

食事しょくじの用意よういをしよう。

好きなテレビテレビをみよう。





洗濯ものをたたんでもらおう。
あれこれいざ……



いろいろ考え、ためしてみましたが、
どれも、うまくいく日と
いかない日が続きました。

ほかの方法は、何かないだろうかと
なんどもみんなで考えました。

「そうだ、いつも息子さんを探しているので、
このお人形を渡してみたら」との意見が出ました。

みんなで話し合い、

人形を渡してみることに

なりました。

おめでとう、

おめでとう。



『わあ、かわいいなあ。』

うちの息子むすこにそっくりやけど・・・太郎たろうか？』と
にっこり抱だきしめました。





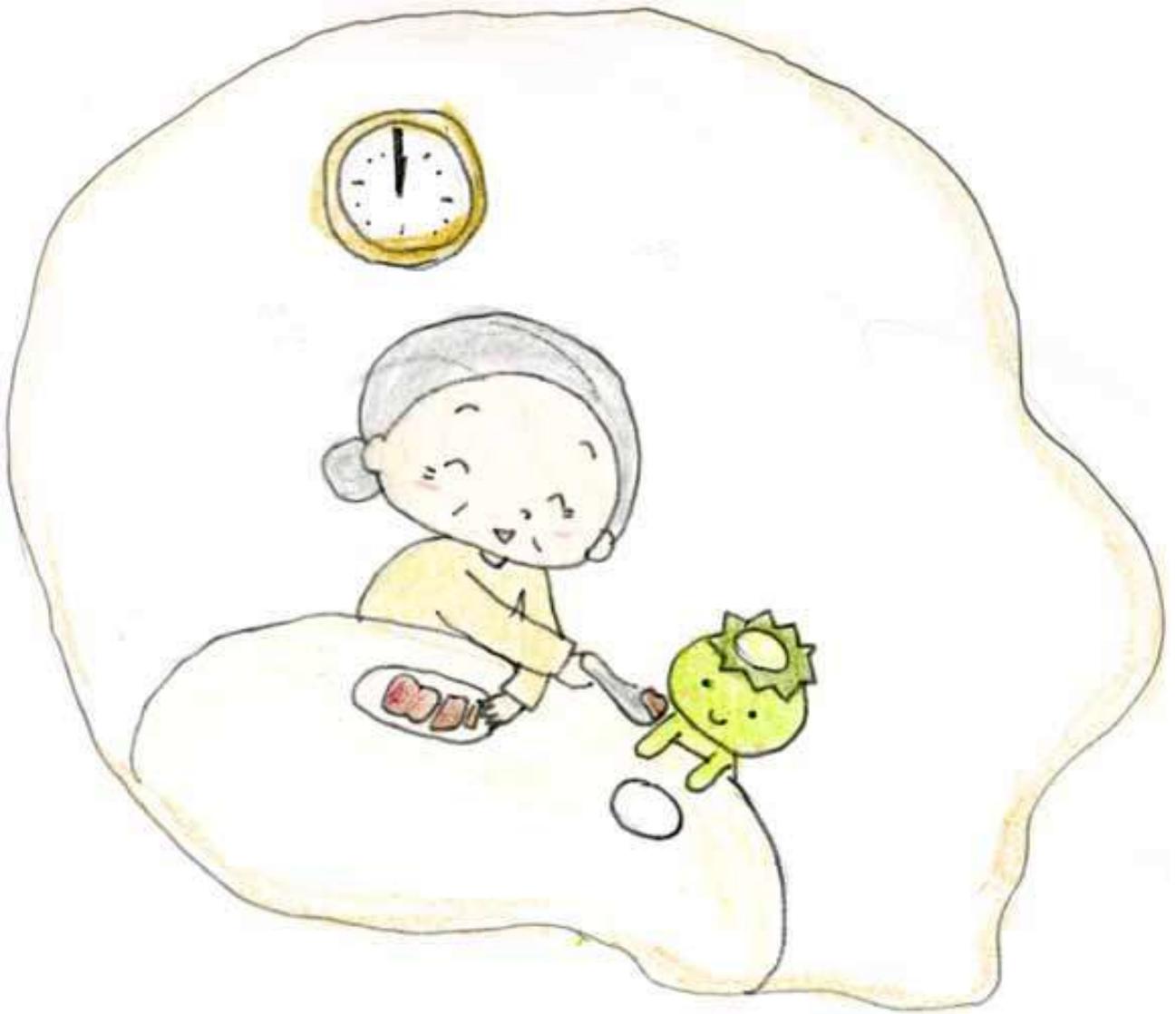
それから、

食事の時も

寝る時も

いつも太郎くんと名付けた

人形と一緒にです。



お風呂の時は

お部屋で

『お風呂の時はお部屋で』

お風呂の時はお部屋で。



そんなある日、

太郎くん人形に話しかけながら

お茶を飲もうとして、

人形が足元に転がりました。



『じつとじつとかな

あぶないで〜』と言いなながら

拾おうとするよ・・・

ど
じつじつ〜ん!

大きな音と共にしりもちをつきました。

『あっ
いたっ!』



介護士に^{かいごし}応急^{おうきゅう}手当^{てあ}てを受け^う、病院^{びょういん}に行^いきました。

病院^{びょういん}には息子^{おすこ}さんもきました。

息子^{おすこ}さんの顔^{かお}を^み見て、

『お父^{とう}さん、太郎^{たろう}は大^{だい}丈夫^{じゆう}か？』と聞^ききました。

『お母^{かあ}さん、太郎^{たろう}は僕^{ぼく}や』

と^い言^いひ息子^{おすこ}さんに



『もう、

こんなに大きくなったんか？』

と不思議そうに顔をみあげていました。

A子さんは、

幸い、軽い打撲でした。

すぐに特別養護老人ホームに

戻れました。



翌朝、太郎くん人形を抱いて

「ニニニ」しながら起きてきました。

『この子、朝からおじいちゃんなんや。』A子さんが

こづんぐで皆さんに話しかけます。

B子さん、C助さん、D夫さん、



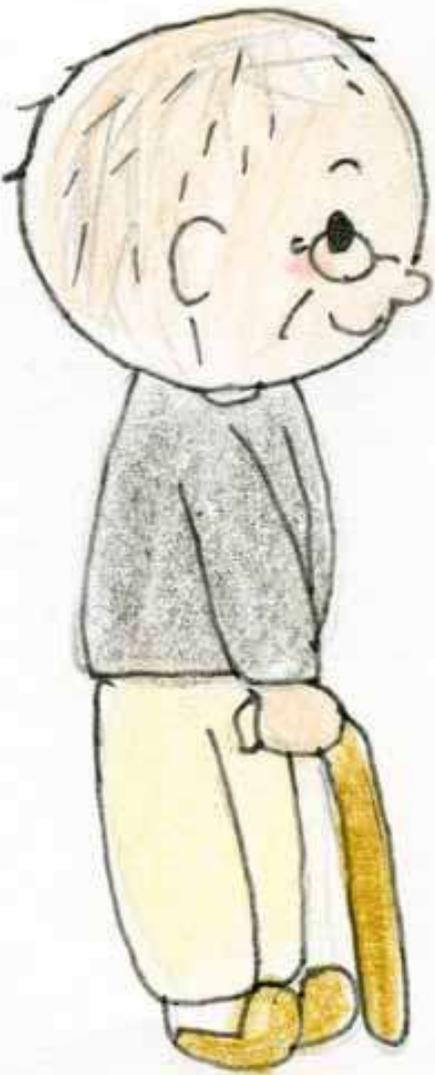


『お年はなんぼ?』

会話は、どんどんはずみます。

とてもほほえましい光景に

介護士もうれしくなります。



みなさん それぞれに、

人形をさわりながら、

『ほく。かわいい子やな。』

『お母さんの言ひを聞いて』

『。さやの賢さ。』

あれから三か月、今日も

同じユニットのみなさんと

『この子、かわいいぞる。』



いっしょのちびっ子『おはな』と話すこともあつ。



しゃかいふくし ほうじん
社会福祉法人

おおさか ふ しゃかいふくし じ ぎょうだん
大阪府社会福祉事業団

【ロゴマーク】

わたしたちは、『よりそう^{おも}想い つながる^{こころ}心』

ほうじん り ねん こうれいしゃ しょう しゃ ふくし
の法人理念のもと、高齢者や障がい者への福祉

じぎょう と く
事業に取り組んでいます。



え おりた あ かり
絵：折田 明香里

ぶん あさの はる こ
文：浅野 治子

アドバイザー：ばい か じょ し だいがく しんり がくぶ こども がっか
梅花女子大学 心理こども学部 こども学科

きょうじゆ こう そ か べ ひでゆき
教授 香曾我部 秀幸



平成28年度

大阪府介護人材育成確保支援事業 補助金事業